



星 嵩 先生

略歴

2010年 東京医科歯科大学歯学部歯学科 卒業
2015年 東京医科歯科大学歯周病学分野 大学院博士課程修了
2015年 東京医科歯科大学歯周病学分野 医員
2017年 東京医科歯科大学歯周病学分野 非常勤講師
新潟県魚沼市星歯科医院 院長
2022年 現在に至る

所属・資格

日本歯周病学会 専門医
日本臨床歯周病学会 会員
アメリカ歯周病学会 会員

使ってみよう！歯周病の新分類

医療法人星仁会 星歯科医院
星 嵩

2017年11月、歯周疾患とインプラント周囲疾患の分類に関するワークショップ「The World Workshop on the classification of Periodontal and Peri-implant Disease and Condition」が米国シカゴにて開催された。アメリカ歯周病学会（AAP）とヨーロッパ歯周病連盟（EFP）が中心となって、世界中の歯周病学・インプラント学における第一人者が集まり、最新のエビデンスに基づく世界基準の新分類を策定した。AAP/EFPの新分類は、2018年6月にアムステルダムで開催されたEuroPerio9で公表されるとともに、関連論文とコンセンサスレポートから構成された特集号「Classification of Periodontal and Peri-Implant Disease and Conditions」として発刊された。AAP/EFPの新分類が世界中で使用され始めてから数年が経過し、日本国内においても普及してきている。

意外なことに、今まで歯周組織の健康に関しては明確な基準が存在せず、治療のゴールは術者によって異なっていた。AAP/EFPの新分類では、健康、歯肉炎、歯周炎があらためて定義されており、それぞれの診断基準を理解する必要がある。最も大きな変更は歯周炎の分類であり、重症度をステージ、進行のリスクをグレードで診断することとなった。ステージという概念は、医科における腫瘍の診断を参考に作成されており、診断されたステージによって治療のアプローチが異なってくる。ステージⅠは初期の歯周炎、ステージⅡは中等度歯周炎であり、口腔衛生指導と非外科治療で対応できる症例が多く、治療の中心は歯科衛生士が担うことになる。ステージⅢは歯を喪失していく可能性がある重度歯周炎であり、骨縁下欠損や根分岐部病変などが認められ、治療には専門的なスキルが要求される場合がある。また、ステージⅣは既に多くの歯が失われ、歯列を喪失してしまう可能性がある超重度歯周炎であり、複雑な口腔機能回復治療が必要となる。ステージⅢとステージⅣの歯周炎においても、歯周基本治療の重要性は普遍であり、治療の成功には歯科医師と歯科衛生士の連携が必須となる。歯周炎のグレードは、歯周炎の進行速度、歯周炎の進行リスク、治療に対する反応性、全身状態との関係を表現する指標である。わかりやすく表現すると、グレードAは歯周炎が進行しにくく治りやすい症例、グレードCは歯周炎が進行しやすく治りにくい症例である。歯周炎は多因子疾患であり、喫煙や糖尿病などのリスクファクターはグレードを決定するときに考慮され、歯周治療の成功には禁煙指導や医科領域との連携も必要となる。

本講演では、AAP/EFPの新分類における、歯周病の診断基準について症例を交えながら解説していく。新分類は歯周疾患の病態を正確に表現する診断法であるため、ぜひ明日からの臨床に取り入れていただきたい。